

Q1・Q2・Q3、新潟県警の平成28年調査では新潟県の6歳未満のお子さんのチャイルドシート使用率は49%で全国ワースト3位です。

	使用率(%)			6歳未満
	1歳未満	1~4歳	5歳	全体
新潟県	84.4	50.0	25.0	49.0
全国	85.7	66.8	39.1	64.2

Q4・Q5、6歳未満のお子さんはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられており、違反者には罰金はありませんが、点数が減点されます。(道路交通法第71条の3第3項)

Q6、チャイルドシート購入の際の補助金

新潟県内でも、加茂市、燕市、胎内市で補助金の支給が行われています。

Q7、正解 98%:2% 警察庁の交通事故データ平成28年版によると28年1年間に起きた事故は、全部で499201件、高速道路での事故は9198件(全事故件数の約1.8%)でした。高速道路で遠出をするときだけでなく一般道でもチャイルドシートは必要です。

Q8、いくつかのデータがありますが、新潟県警察の平成28年の発表によれば、チャイルドシート不使用者の死亡率は使用者の約25.7倍とされています。

Q9、チャイルドシートには、大きく乳児用、幼児用、学童用の3種類あります。

下記の表を参考にお子さんの体格に合わせたチャイルドシートを使用しましょう。

乳児用



体重:13kg 未満
身長:70cm 以下
年齢:新生児~1歳くらい

幼児用



体重:9~18kg
身長:65~100cm
年齢:1歳~4歳くらい

学童用



体重:15~36kg
身長:135cm 以下
年齢:4~10歳くらい

Q10、正解 6.0倍

国土交通省によれば適正に使用しないと死亡重傷率は適正に使用した場合の約6.0倍に上昇します。県内でも不完全な装着状態で事故にあい、後部座席から助手席下の床まで放り出され、重傷頭部外傷による出血性ショックで亡くなった乳児例があります。

平成28年のJAFの調査ではしっかりと装着されていたものは4割しかなかったというデータもあります。助手席での使用は、事故の際エアバックが飛び出してお子さんに衝撃が加わるため、かえって危険です。チャイルドシートがぐらつかないように、もう一度取扱説明書をよく読んで、しっかり固定してください。

Q11、時速40kmでコンクリートの壁に正面衝突した場合には約30倍の重力が加わります。

チャイルドシートを正しく使用して大切なお子さんを交通事故から守りましょう！！

※最後に、右のQRコードから国土交通省のHP、チャイルドシートの重要性についての動画に繋がります。3分ほどの内容ですので是非一度ご覧ください！！



子どもはチャイルドシートに。抜け出そう ワースト3! 新潟県小児科医会